

はくかんさん



本年も宜しくお願い致します

第80号 H24年正月

伊豆市 法住寺 発行

もったいない

マータイさん、三十年以上にわたりアフリカの大地に三千万本以上の木を植え続け、地球環境保護に尽力し、アフリカの女性で初めてノーベル賞をもらった方です。「もったいない」を世界に広めたことでも知られています。

そのマータイさんは「この世の全てのものは、大自然からの賜(たまわ)りもの」と言っています。単に経済的に「もったいない」だ

けでなく、大自然からの授かりものだから粗末にしたのでは「もったいない」というのです。

これは日本が古来から培ってきた精神そのもので、ご飯を粗末にしたら目がつぶれるとか、バチがあたると言って、食べ物に限らずモノを「もったいない」と大切にしてきました。また仏教では「山川草木、悉有仏性」と云い、山や川、樹木や草に至るまで仏性、魂がある、だから粗末にできないと説いてきました。この日本の美しい文化に感動したマータイさんが、「もったいない」精神こそ私が伝えたいことと、世界に広めたのです。

* この「もったいない」は、英語などの外国語では云い表わすことが出来ないのだそうです。大自然に畏敬の念をもち、人間はその中の一つの存在にすぎないことを自覚してきた日本の先人、そこから培われてきた日本語が、情感を表わすのに高度に発達していて、語彙に富む言葉なのだそうです。

* BBC(英国)の公共放送で世界で信頼されている(が)「世界に最も良い影響を与えている国」を毎年調査していますが、日本は三年連続で世界トップだったのです。二〇一一年は、

四位でしたが、世界で高く評価されています。太平洋戦争を起し、大きな不幸を作ってしまったという反省から、戦後ずっと日本はダメな国だ、日本人は世界では通用しないと、伝えられてきました。その結果、日本的なのはダメと否定することが、時代の先端でありインテリであるという風潮を作ってしまった。しかし戦後六十年余たって、日本の本来の良さが見直され始めてきたことは嬉しいことです。

* 東日本大震災による悲しみや苦しみは、とても言い表わすことができませんが、直向(ひたむ)きな人々の姿には、大自然に向かう日本人を感じます。先人は何千年の間、自然と共に歩み、そこに神の存在を感じ、その偉大な力に慄き崇拝してきました。日蓮大聖人は日天、月天、明星天、天照大神、八幡大菩薩を大曼荼羅に勧請され崇めています。また法華経は大自然を人格化し、神格化したお経といってもいいでしょう。

『日照りの時は 涙を流し 寒さの夏はおろおろ歩き 「雨にもまげず」より』
現実を柔軟に見聞きしわかり、大自然を畏敬し、謙虚に慎ましく、南無妙法蓮華経をひたすらに信じ、歩んでいきたいと願っています。

謹賀新年



法住寺護持会

〔総代、護持会長〕 山下 一

〔総代、副会長〕 伊東 修

〔総代〕 佐藤雄一

〔世話人〕 山下要、飯田忠、飯田政春、

室野好信、小塚順一、山下誠次、

森野健次、山田安夫、杉山修

〔監査〕 佐藤賢吾、小塚康清

中伊豆立正大題目講(当山)

〔副会長〕 森野はま江

〔顧問〕 小塚勝

〔世話人〕 伊東繁春、山下要、井本まつ、

伊東はつ江、三田五月、山下しづか、

伊東すゑ子、伊東ちゑ子、三田幸子、

山崎まち、伊東通子、滑川正勝、

滑川美奈江、森野一夫、小塚正司、

山下清、小塚孝夫、小塚貞夫、

小塚康清、山本宏衛、小塚愛子、

山下千代子、佐藤雄一、佐藤賢吾、

佐藤秀夫、杉山しまゑ、山本義富

伊豆連合大題目講(当山)

〔理事〕 山下要

お寺の庭に花いっぱい

昌子寺庭の山務日誌より

前回の「はくがんさん(H23秋号)」で、『金接ぎ』のこと、『かすがい』のことを書かせて頂きました。

＊

その後、読んで下さった方々からお手紙やお電話を頂きました。「同感です!」、「今、会社の中で人間関係に、すごく悩んでいましたが、この金接ぎ

の話を読んで、大切なことを見つけることができました。明日からやり直し。ありがと。』等々。今を生きているからこそ、悲しむ、苦しむ、楽しむ、……。

かくいう私も十月以来、首筋が痛く、ただ今、医者通い。時に激痛がはしることもありました。それでも何とか働ける幸せが、今、あります。薬を飲むとテンポが落ちて、自分らしくならないなあとも思いましたが、こう



した痛みもまた、与えられた事なのだと思います。うになれました。

今までは、せっかちに先へ先へと動かなければ気のすまない自分が、雑巾を持ってゆつくり、廊下を拭いている……。これもまた、新しい自分です。

＊

今年は辰年、私も還暦をむかえ、やっと大人の仲間入りをさせて頂けそうです。本年も宜しくお願い致します。

継続は力、中伊豆立正会

先人が積みあげてきた歴史

中伊豆立正会は、中伊豆地区の日蓮宗寺院を会場に大題目を行ってきました。会長はじめ役員は檀家代表が勤め、住職は顧問となつて運営にかかわっています。

この会の歴史は古く、明治時代始め頃から大見立正会として、農繁期を除いてほぼ毎月、大題目を行ってきました。車もない時代に、自分のお寺だけでなく、上大見、中大見、下大見の各寺院を回り、お題目を唱え続けてきたのです。お題目の後は会食があり、お酒も楽しみの一つでした。この準備は檀家の女衆さんが賄い、当山でもお会式に次ぐ大きな行事でした。

トピックス

境内整備、奉仕作業

時代が移り女衆さんのお勤めが多くなり、会食の手間が難しくなり、また車社会となり飲酒運転が社会問題となつて、現在の様にお題目とお茶会になつてきました。これからも時代は変化し続けますが、百五十年近く続けてきた先人の意気を引き継ぎ、「継続は力なり」と励んでまいりましょう。

全檀家が会員

この会の会員は全檀家となつています。皆さんには、会員としての自覚をもつて頂き、檀家さん同志が、互いに励まし合つて信仰を深めてもらいたいと思います。当山に他寺の檀家さんが来てくれ、皆さんが他のお寺さんをお詣りして共にお題目する、善いなあ、素晴らしいなあと思えます。

中伊豆立正会の当山の世話人さんは、二頁の表の通りです。世話人さんから声をかけられたら、快くご参加して下さい。

なお会費はありませんが、五百円程度のお賽銭をお願いします。

今年の中伊豆立正会の予定

一月 妙延寺、三月 実成寺、六月 一乗寺、七月 法住寺、九月 妙見寺、十二月 妙泉寺、(今年の休み 法蓮寺)

十二月十一日、年末の境内整備作業がありました。今回は西地区の皆さんで、第一墓地

北側斜面の雑木を伐採して下さいました。五、六年前にも役員さんが伐採し、雑木を運び出してくれたのですが、雑木が大きる前に切ってもらいました。葛ツタがのび放題で厄介な作業でしたが、皆さん気持ちの良い汗を流して下さいました。

また十八日午後から十二日講の皆さんが大勢で境内掃除して下さいました。若い方の参加も多く、嬉しい作業でした。

お陰さまで清浄な正月を迎えることが出



葛ツタが絡んで大変!



十二日講、終わって一息

来ました。皆さん、ありがとうございました。

今年の境内整備作業(予定)

春 元村①、夏 清水①、
秋 元村②、年末 小川

田方仏教会長

住職が田方仏教会の会長をお勤めすることになりました。任期は二年間で、田方地区の仏教寺院は、一五四カ寺あります。宜しく
お願い致します。

開運星祭り

一月二十九日(日)午後二時

節分、立春は旧暦の年の始め、また春の
始めで、これに合わせて「星まつり」が
あります。

人にはそれぞれ星宿といって、自分の
星を持つていて、運氣となつて表れます。
そこで星宿を清浄にして、諸天善神のご
加護を頂き、悪い運氣を払い幸運をご祈
願いたします。

皆さまの星が善い輝きを増し、厄払い、
交通安全、家内安全、身体健全等のご利
益が頂けますよう、ご祈祷、ご祈願致し
ます。

詳しくは別紙をご覧ください、お申し込み下さい。



洋明さんのおはなし

昨年をふりかえると、未曾有の被害をもたらした東日本大震災。大勢の物故者霊位の冥福を祈り、また被災者の方々に安心と復興の光が射します様にと祈念してまいりました。

伊豆でも計画停電が実施され、たった数時間の停電に、皆戸惑いました。いつもとは違う環境、電気が使えないだけで、普段の当たり前の生活がいかに有難いか、今まで「当たり

り前」と思っていたことが、そうでないと実感しました。

*

私は手を合わせる際、必ず最初に仏天の諸尊に「大慈大悲大恩 御報恩謝徳(ダイジダイヒダイオン ゴホウオンシヤトク) 南無妙法蓮華経」と申し上げます。これは、日々の仏天の大きな慈悲、ご加護、そのご恩を頂き、いつも有難うございますという感謝の意味です。

仏天のご加護は目に見えないものです。祈願していた事が叶ったり、その目に見えないご加護を実感した時、また嬉しい時、幸せな時、物事がうまくいった時は「大慈大悲大恩 御報恩謝徳」。

しかし毎日決していることばかりではありません。時に「何で毎日手を合わせているのに」と思う方もいらっしゃるでしょう。私自身、悲しいこと、悔しいこと、嫌なこと、時に物事を投げ出したくなることも沢山あります。ですが、そんな経験があつてこそ今の今があるわけですから、どんな時でも「大慈大悲大恩 御報恩謝徳」と申し上げます。まさに仏天はその場その場だけではなく、長い長い目で見守って下さっています。

「困った時の神頼み」という言葉があります。時にその様な時もあるでしょう。ですがまず祈願というお願い事をするより、しっかりと感謝を申し上げ、その後で、存分にお願いをきいてもらいましょう。

*

「当たり前」のことが何もない中で、本年は、仏さま、ご先祖さま、家族や周囲の方に、少しでも多く感謝の気持ちを持てる様にしたいものです。又良い時も悪い時も、どうぞお寺にいらして下さい。本堂の仏天の諸尊の前で、一緒に手を合わせましょう。

まずは「大慈大悲大恩 御報恩謝徳 南無妙法蓮華経」

御志心納金 「十月〜十二月」

五十万円	西	佐藤薫殿	尊父葬儀砌
五十万円	横須賀市	小塚淳殿	墓地返還砌
五十万円	元村	山下要殿	尊母葬儀砌
二十万円	元村	三田信子殿	尊母葬儀砌
十万円	伊豆市	井本さち殿	寿量の塔納骨砌
十万円	伊東市	大竹淳一殿	寿量の塔納骨砌
十万円	伊東市	稲葉安彦殿	尊叔父葬儀砌
十万円	元村	飯田安久殿	尊父一周忌砌
十万円	伊東市	小塚政宏殿	尊母葬儀砌
五万円	伊豆市	長沼昌男殿	寿量の塔納骨砌

寿量の祈り

- 一 大自然 ありがとうございます 南無妙法蓮華経
- 一 社会の皆さん ありがとうございます 南無妙法蓮華経
- 一 ご先祖さま、家族の皆さん ありがとうございます 南無妙法蓮華経